



「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.14 **村上 武利 さん**
 MURAKAMI TAKETOSHI

厚狭のまちを面白く「厚狭 杜のまち」代表

旧山陽道から厚狭駅に向かって伸びる厚狭商店街には趣のある建物やお店が並ぶ。村上さんが代表を務めている「厚狭 杜のまち」とは、「歩いて楽しめるまち」をコンセプトに、まち筋に木々を増やし、自然の中でまちの魅力を知ってもらおうと活動する団体だ。活動の一つとして、古民家を活用したおひなさまの展示や商店街を巡る小学生を対象としたスタンプラリー、「厚狭駅周辺町あるき」マップの作成なども行い、まちと人との繋がりを創る一役を担っている。

設立の一番の契機となったのは平成22年(2010年)7月に発生した厚狭の水害。被害を受けた家屋は多くが解体され、空き地が増えたことで商店街が寂しくなった。まちを元気にする方法はないかと、空き地を活用し、小さな公園をイメージしたポケットパークの整備を考えた。

「活動するにあたって、当初は懐疑的な意見が多かった。専門家にも公園を作るのは現実的でないと言われたが、諦めるのではなく、むしろ絶対にやってやろうという気持ちが強くなった」と話す。ただし、問題は山積みだった。メンバー集めでは、声をかけても良い返事をもらえないこともあった。それでも「面白そうやね。一緒にやろうか」という仲間の言葉に助けられてここまでやってこれた。当初は資金の援助もなかったため、最初のポケットパークはメンバーで出資し、ベンチや机は木材を調達して手作りした。

村上さんは「知恵を出し、ないものは作ればいい。そこには一から作る面白さがある。面白いと思ったら行動する。そしてその積み重ねで厚狭のまちをもっと面白いまちにしていけたら」と微笑んだ。



厚狭 杜のまち

Profile・山陽小野田市出身。光市の異設計コンサルタントに60歳定年まで勤め、定年後は実家の石材店を引き継ぐ。自身の建築事務所を営む傍ら「厚狭 杜のまち」の代表を務め、教師や住職、酒屋、英会話教師、医者、陶芸家などのメンバーで活動している。現在ポケットパークは2か所。休憩スポットやイベントの会場としてまちに彩りを添えている。



▲ポケットパーク3号地 (さくらほっとパーク)



▲厚狭 杜のまち発行 「厚狭駅周辺町あるき」マップ

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん
 ①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
 シティセールス課広報係 (☎82-1148)



やました かいと
山下 快斗くん (7か月)
 今年も笑顔で過ごせますように☆



わかまつ みつき
若松 美月ちゃん(1歳)
 元気いっぱい大きくなってね

